

「あんぜんひろば」安全情報の確認体制

71項目を公的・専門的資料と照合し、根拠の位置づけを区別して管理しています。

ホッピースマイルは、子どもが「見たい」「やってみたい」と思える安全教育を大切にしています。その一方で、子どもの命に関わる情報だからこそ、分かりやすさや楽しさだけでなく、伝える内容の正確さを確認することも欠かせないと考えています。

14

対象制作物

71

確認した安全情報

27

確認資料

2026.8.14

最終確認日

3つの確認区分

47項目

公的・専門的資料に
直接根拠あり

安全情報の中心となる内容を、公的機関・専門機関等の資料で直接確認しています。

22項目

公的な安全原則を
もとに具体化

事故メカニズムや安全原則を、日常の具体場面や幼児向け表現へ適用しています。

2項目

ホッピースマイルによる
安全上の補足

直接推奨ではない補足は、根拠となる仕組み・条件・限界を区別して採用しています。

どのように確認しているか

- 1 教材の安全情報を、安全判断上意味のある単位に分けます。
- 2 消費者庁・こども家庭庁・警察・政府広報・自治体・製品安全機関等の資料を確認します。
- 3 公的資料に直接ある内容と、安全原則を具体場面へ適用した内容を区別します。
- 4 対象年齢・使用条件・例外・断定の強さなどを確認し、根拠を超える表現があれば修正します。
- 5 重要な公的情報の更新や新たな知見が確認された場合に見直し、原則として年1回を目安に再確認します。

確認の考え方

公的資料の文章をそのまま並べるのではなく、子どもに伝わる言葉や日常の場面へ置き換えます。その際、どこまでが直接確認できる内容で、どこからが具体化・補足なのかを曖昧にしないことを大切にしています。

代表的な確認例

3つの確認区分が、実際の教材でどのように使われているかを示します。

公的・専門的資料に直接根拠あり

「丸くてツルツとしたものは、4等分して出しましょう」

ミニトマトやぶどう等について、消費者庁が示す「4等分」という具体的な予防方法と照合しています。

公的な安全原則をもとに具体化

「ともだちを みつけても、まずは とまって あんぜんを たしかめよう」

道路へ出る前に立ち止まり、左右や周囲を確認するという公的な交通安全の原則を、子どもが実際に遭遇しやすい場面へ具体化しています。

ホッピースマイルによる安全上の補足

「座れないときは、安全な場所で立ち止まりましょう」

串に刺さった食品について、公的機関の直接推奨は「座って落ち着いて食べる」ことです。ホッピースマイルでは座ることを第一選択としたうえで、座れる場所がない場合に歩きながら食べ続けられないための第二選択として採用しています。座ることと同じ安全レベルとは扱っていません。

ご確認にあたって

本レポートおよび「安全情報の根拠・確認一覧」は、ホッピースマイルが行った公的・専門的資料との照合・確認結果を示すものです。外部専門家による「監修済み」を意味するものではありません。また、事故を完全に防ぐことを保証するものではありません。

全71項目の詳細

別紙「『あんぜんひろば』安全情報の根拠・確認一覧 v1.0」で、教材内の表現、確認区分、主な確認先、根拠・確認内容、条件・補足、根拠URL、最終確認日まで確認できます。

※ 詳細一覧は必要に応じてご提示します。